

A Bible Study

光の中を歩く

Walking In The Light



アル・ガッサン Jr 著

序

この1時間の聖書勉強は、「聖徒たちによって、ひとたび伝えられた信仰」(ユダの手紙3節)のうちを改心した者たちが歩き続けるための手引きとして作られました。これは誰かから教えてもらったり、個人で勉強するために用意されたものです。間に休憩を入れて行なうならば、「使徒たちと歩く」のあとが良いと思います。

この聖書研究を行なうにあたっては、このページを印刷したものと筆記用具を用意し、それぞれの項目の問いごとに挙げられている聖句を読み、答えを記入していただきます。この聖書研究の最後にはいくつかの補足的な注釈、及び補足の参照聖句が書かれていますので、参考にしてください。

この聖書勉強の目的はすべての新らしい弟子たちが、「命にいたる細い道」(マタイによる福音書7章14節)を歩むのを励ますことです。

「光の中を歩く」努力をしているすべてのひとびとが神に祝福されているように、この聖書勉強が神によって祝福されるよう、まず祈りましょう。

「あなたがたは、以前はやみであったが、
今は主にあって光となっている。光の子らしく歩きなさい」

エペソ人への手紙5章8節

導入

わたしたちは使徒のひとり、「ルカ」と共に歩いていることを想定して聖句を見ていきましょう。ルカは医者で、新約聖書のどの著者よりも多くの記録を書きました。ルカは使徒パウロと伝道旅行をしたパウロの友人でした。ルカによる福音書と使徒行伝はこのルカによって書かれています。ルカは「テオピロ」という新しく信仰に入った者が、クリスチャンとしての歩みを確立するのを助けるためにこの「ルカによる福音書」と「使徒行伝」を書いたのです。

わたしたちは新約聖書をおもに三つの部分に分け、それぞれの出来事が起った順に見ていきます。

1. 福音書 — わたしたちの主イエス・キリストの言葉とその働きと歩み
2. 使徒行伝 — 使徒たちの行動と彼らが教えたこと
3. 手紙 — 使徒行伝ではじまった教会に宛てて使徒たちが書いた手紙

神のみ言葉の旅に入っていく前に、ルカによる福音書1章1-4節を読みましょう。

イエスと共に歩く

ルカによる福音書 3 章 21-22 節	イエスが働きをはじめる少し前、わたしたちの新生体験と同じような二つのことが彼に起りました。まず、イエスは水の____をバプテスマのヨハネによって受け、そして____がイエスの上に下りました。
ルカによる福音書 4 章 1-4 節	(1*)水のバプテスマと聖霊の体験の後すぐに、イエスは悪魔の____にあいました。あなたもいろいろな誘惑に直面したことでしょう。イエスはそのとき神の言葉を用いてわたしたちの魂のために勝利しました。これと同じようにわたしたちもこの力強い武器(神のみ言葉)を使うことができます。
ルカによる福音書 6 章 7-12 節	(2*)イエスは悪魔の攻撃と同じような「宗教家」たちからの反対にあいました。あなたにも同じようなことが起るのを予想することができます。これに対応するためにイエスは山に行き、____ました。困難が来たとき、イエスでさえ祈ることを必要としていたのなら、わたしたちがいつも祈ることは確かに不可欠です。
ルカによる福音書 6 章 46-49 節	イエスはある人々が彼を「主」と呼びながら彼に従わないのを不思議に思いました。クリスチャンとして成功するための公

	式があります。それは「聞くこと＋ _____こと＝倒れない家を建てること が出来る」です。神の言葉に従うという ことは、わたしたちクリスチャンにとっての 人生の土台なのです。
ルカによる福音書 7 章 19-23 節	洗礼を人々に授けた_____ でさえ、イエスを疑いました。ですから、 あなたが神にある体験を疑うことがあつ ても驚かないで下さい。
ルカによる福音書 8 章 1-3 節	イエスに従った人々はイエスを支え、彼 らの_____をもって奉仕することで イエスに対するさまざまな感謝を示しまし た。(持ち物 = 所有物、財産)
ルカによる福音書 9 章 1-2 節、 10 章 1-3 節	イエスは、収穫は多いが_____ ので宣教は簡単ではないが、イエスの宣 教といやしのわざを助けるために弟子た ちを遣わしました。あなたは神のところに 人々を連れてくる働きを行ないたいと思 いますか。 はい_____ いいえ_____
ルカによる福音書 14 章 25-27 節	(3*)わたしたちが家族や自分の命より もイエスを愛するのでなければ、イエス の_____になることは出来ません。(捨 てる = そのものをイエス以上に愛さな い) わたしたちは自分の十字架を負 い、イエスに従おうという気持ちを持って

いなければいけません。

ルカは「イエスがどのようにわたしたちの罪のために十字架を負い、死んで墓に葬られ、そして三日目によみがえったか」を記し、「ルカによる福音書」を結んでいます。

復活の後、イエスは弟子たちに会い、彼らが何を宣べ伝えるべきか、すなわち、悔(く)いあらためとイエスの名による罪の赦(ゆる)し、そして約束された聖霊についての最後の教えをしました(ルカによる福音書 24 章 44-49 節)。それからイエスは天にあげられ、今も支配しています。

医師、ルカと共に使徒行伝 1 章 1-2 節を読み、光の中の旅を続けましょう

使徒たちと共に歩く

ルカはテオピロに福音書の続編として、「使徒行伝」を書きました。ルカは主に二人の使徒、ペテロとパウロについて書いています。

〈ペテロと共に歩く〉

使徒行伝 2 章 38-42 節	新しく人々が悔いあらため、イエスの名による洗礼を受け、異言を伴う聖霊を受けたのち、彼らはひたすら
------------------	--

	<p>四つのことをしました。それら四つのは何ですか。</p> <p>1.</p> <p>2.</p> <p>3.</p> <p>4.</p>
使徒行伝 4 章 13-20 節	<p>(4*) 怒った宗教家たちは使徒たちに「イエスの名」による教えをやめるよう命じました。しかし弟子たちは真理を隠すつもりはなく、「わたしたちとしては、自分の見たこと、聞いたことを_____わけにはいかない。」と言いました。</p>
使徒行伝 4 章 31 節	<p>(5*) 聖霊を受けた信者たちはさらに、_____に満たされました(わたしたちもそのようである必要があります)。</p>

〈パウロと共に歩く〉

使徒行伝 13 章 44-52 節	<p>因習を大切にする宗教家たちは、彼らの弟子たちが福音を聞いてそれを宣べ伝える者たちに従うのを好みませんでした。しかし、そのような迫害の真ただ中でも「弟子たちは、ますます_____と聖霊とに満たされていた。」</p>
-------------------	---

使徒行伝 14 章 19-22 節	パウロは真理を説教するために死にそうにもなりました。それでも彼は新しい弟子たちに「たとえ苦難が多くとも信仰を_____と <small>はげ</small> 励ましました。
使徒行伝 20 章 17-22 節	パウロの働きの回想。パウロは弟子たちに益となることはすべてあますことなく話して聞かせ、「神のみ旨を_____伝えた」と言いました。
使徒行伝 28 章 17-22 節	多くの宗教家が「パウロは異端の宗教の首謀者(しゅぼうしゃ)である」と感じたため、パウロの働きはろう獄での拘留中に終わりました。使徒的メッセージは_____に反するものではありませんでしたが、このような非難の声はいつでも起り得ます。もしそのようなことが今なくても、それが起り得る可能性はあります。

わたしたちはペテロやパウロのように不信仰な者たちが何をしたとしても、またさまざまな宗教家が言ったり、行なったりすることに関係なく、^{まった}全き福音を大胆に宣べ伝える説教者たちについて神に感謝し、彼らに対して誠実でなければなりません。

今、わたしたちは初代教会の信者たちと共にいると想像し、使徒たちからの手紙を読んでいきましょう。

初代教会と共に歩く

わたしたちはパウロやペテロの働きを強調して書いたルカの文書から、この二人の書いた手紙に視点を移しましょう。わたしたちが読んだように、単に「誰がキリストにあるか」ではなく、キリストに属する者として「どのように生きるか」を悟らなければいけません。

〈パウロの手紙〉

パウロの文書(手紙)は「わたしたちがクリスチャンとしてどのように歩むべきか」という、多くのことがらについて書かれています。ここに、信者に対するパウロの実際の手紙からいくつかの抜粋をあげます(6*)。

- ・ わたしたちは以下のように「歩かなければならない」

- * 新しいいのちに生きるため …… ローマ人への手紙 6章 4 節
- * 昼間歩くように、つつましく …… ローマ人への手紙 13章 13 節
- * 見えるものによらないで、信仰によって …… コリント人への第二の手紙 5 章 7 節
- * (肉に勝利するために)御霊によつて …… ガラテヤ人への手紙 5章 16 節
- * (神が定めたように)良い行いをして …… エペソ人への手紙 2章 10 節
- * キリストがわたしたちを愛してくださったように、愛のうちを …… エペソ人への手紙 5章 2 節
- * 主の御こころにかなった生活をして真に主を喜ばせて …… コロサイ人への手紙 1章 10 節
- * 外の人に対して賢く …… コロサイ人への手紙 4章 5 節

<p>ローマ人への手紙 8 章 35-39 節</p>	<p>何がわたしたちを神の愛から引き離すことができますか。答え:_____。わたしたちを愛してくださる方によって、わたしたちは<u>勝ち得て余りがあります</u>。</p>
<p>コリント人への第一の手紙 6 章 9-11 節</p>	<p>パウロは、「コリント人は正しく<u>な</u><u>かった(過去形)</u>」と言いました。しかし彼らはイエスの____によって、また神の____によって洗われ、きよめられ、義とされました。水と霊によって生まれ変わることにより、彼らの過去は去ってしまったのです。(きよめられる = 取り除かれる、赦免される、無罪にされること)</p>
<p>コリント人への第一の手紙 9 章 11-14 節</p>	<p>(7*)自給自足をする働き人であったとしても、「主は福音を宣べ伝える者たちが福音によって生活すべきことを_____のである」とパウロは言いました。それは、旧約時代に祭壇に仕えたレビ人や祭司たちすら、什分の一献金や献金によって養われていたからです。(什分の一献金 = 収入の十分の</p>

	<p>一、献金 = 犠牲の伴う贈り物) あなたは神があまりにも多い要求をしていると思いますか。 はい _____ いいえ _____</p>
<p>ヘブル人への手紙 3 章 12-14 節</p>	<p>もし最初の確信を _____ までしっかりと持ち続けるならば、わたしたちはキリストにあずかる者となる</p>
<p>ヘブル人への手紙 10 章 23-25 節</p>	<p>ある人が悪い習慣を行なうように、わたしたち自身は共に _____ を行なうことをやめないようにしなければなりません。忠実に礼拝に出席しましょう。</p>
<p>ヘブル人への手紙 10 章 35-39 節</p>	<p>わたしたちは信仰を捨てて滅びる (滅びる = 永遠の滅び、地獄に行くこと) ことを防がなければなりません。また、大きな報いのともなう _____ を放棄してはいけません。信仰により、わたしたちはイエスが来られるまで、イエスのうちに生きることが出来るのです。</p>

注釈： 聖書はヘブル人への手紙が誰によって書かれたかを明記してはませんが、ヘブル人への手紙はパウロが書いたものであろう、と推定されています。

〈ペテロの手紙〉

<p>ペテロの第一の手紙 1 章 3-5 節</p>	<p>わたしたちは天国にたどり着くまで、信仰により、神の_____により守られる。</p>
<p>ペテロの第一の手紙 1 章 13-16 節</p>	<p>わたしたちの過去に合わせた悪い願望に従うよりも、わたしたちはあらゆる行いにおいて_____になるべきです。</p>
<p>ペテロの第一の手紙 4 章 3-4 節</p>	<p>あなたの友人たちは、あなたが一緒に悪い行いに加わらないので、驚きあやしんでいますか。 はい_____ いいえ_____</p>
<p>ペテロの第一の手紙 4 章 12-14 節</p> <p><small>そし</small> (誘る = 中傷する、小言を言う、あざける、馬鹿にする)</p>	<p>あなたは試練が来ることは驚きあやしむべきことだと思いますか。 はい_____ いいえ_____</p> <p>あなたはキリストのために<small>そし</small>られ、苦しむこともありますか。 はい_____ いいえ_____</p>

<p>ペテロの第二の手紙 1 章 5-11 節</p>	<p>あなたを墮落させないようにし、かつ、神の永遠の御国に入るための多くの切符になるであろうどんな事柄があなたの人生のうちに備えられて行くべきですか。</p> <p>信仰 + _____ + _____ + + _____ + _____ + _____</p>
<p>ペテロの第二の手紙 2 章 20-22 節</p>	<p>ペテロは、主にはじめは従っていたが、途中で引き返す者たちをどんな動物にたとえていますか。 「_____ は自分の吐いたものに帰り、_____ はどろの中にころがっていく。」</p>
<p>ペテロの第二の手紙 3 章 17-18 節</p>	<p>ペテロは最後の手紙の結びで、「わたしたちが自分たちのを失わずに、わたしたちの主、そして救い主であるイエス・キリストの恵みと知識とにおいて、ますます豊かになりなさい(成長しなさい)」と強く勧めています。</p>

おわりに

今あなたは光に歩くために必要ないくつかのことがらを知りました。その上で、あなたはあなた自身をさらに以下のようなことがらに委ねていくことが出来るでしょうか。

- ・ いつも(定期期に)祈り、聖書を読む
- ・ 教会の礼拝に出席する
- ・ 什分の一献金と献金をささげる
- ・ 神と人との前に^{きよ}聖い生活をする
- ・ 使徒的真理を大胆に宣べ伝える

もしあなたが真剣にこれらのことを行ないたいと願うなら、神と共に人生を歩むことが出来るよう、今神に求めて祈りましょう。

注釈

注釈) 1*	<p style="text-align: center;">ヤコブの手紙 1章 12-15 節</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">わたしたちの敵</th> <th style="width: 33%;">それに勝利する方法</th> <th style="width: 33%;">御言葉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 悪魔</td> <td>神の武具を身につける</td> <td>エペソ人への手紙 6章 10-18 節</td> </tr> <tr> <td>2. 世の欲</td> <td>世を愛さない</td> <td>ヨハネの第一の手紙 2章 15-17 節</td> </tr> <tr> <td>3. 肉</td> <td>御霊によって歩く</td> <td>ガラテヤ人への手紙 5章 16-25 節</td> </tr> </tbody> </table>	わたしたちの敵	それに勝利する方法	御言葉	1. 悪魔	神の武具を身につける	エペソ人への手紙 6章 10-18 節	2. 世の欲	世を愛さない	ヨハネの第一の手紙 2章 15-17 節	3. 肉	御霊によって歩く	ガラテヤ人への手紙 5章 16-25 節
わたしたちの敵	それに勝利する方法	御言葉											
1. 悪魔	神の武具を身につける	エペソ人への手紙 6章 10-18 節											
2. 世の欲	世を愛さない	ヨハネの第一の手紙 2章 15-17 節											
3. 肉	御霊によって歩く	ガラテヤ人への手紙 5章 16-25 節											
注釈) 2*	<p style="text-align: center;">マタイによる福音書 6章 9-13 節</p> <p>この節は、祈るべきことがらを教えるものとして使うことができます。イエスは個々のことがらを何分間かずつ祈るよう示しています。たとえば、神を「御名があがめられますように」と誉め、賛美することからはじめ、続いてその他のことがらを祈る、というようにです。</p>												
注釈) 3*	<p style="text-align: center;">マタイによる福音書 10章 34-37 節</p> <p>イエスはわたしたちが家族よりもイエスを愛するべきである、ということはこの節は意味しています。しかし、イエスが言っているのは家族を憎む</p>												

	ということではありません。
注釈) 4*	<p>コロサイ人への手紙 4章 5-6節 及び ペテロの第一の手紙 3章 15-16節</p> <p>これらの節は、わたしたちの言葉と生活によって人々に証(あかし)をするための、パウロとペテロの勧めです。</p>
注釈) 5*	<p>ユダの手紙 20-21節</p> <p>パウロがしたように、しばしば異言で祈りなさい。(Iコリント 14:2-5、14-18)</p> <p>聖霊により満たされ続けなさい。(エペソ 5:17-20)</p>
注釈) 6*	<p>エペソ人への手紙 4章 21-5章 10節</p> <p>神にあってどのように歩くべきかを教える最も偉大な助言</p>
注釈) 7*	<p>民数記 18章 21-31節</p> <p>これらは什一献金や献金を行なうすべての人に対する非常に素晴らしい祝福です。</p>

「わたしたちはあなたに、ルカによる福音書、使徒行伝、手紙の全部を読むことと、あなたが『御国とその栄光とに召して下さった神のみこころにかなって歩き続けること』を勧めます (Iテサロニケ 2:12)。」

あなたにもできる！

親愛なるキリストにある友へ

ここに、天国に到達するため、あなたの人生の行路を助けるいくつかの勧めをさせていただきます。

あなたの救いの体験を確信する

あなたを神が愛し、気にかけてくださっていることを知ってください。神はあなたを離れず、見捨てない、と約束してくださっています。あなたの信仰を神の言葉に持ち続け、あなたの感情を信頼しないようにしてください。サタンは「あなたが受けたものは本当のものではない」とあなたに語りとうとするでしょう。しかし、サタンはうそつきです。もしあなたが救われたのなら、あなたは神の子なのです。ただあなたの心を神に生きることに向けましょう。そうするならば、たとえ、サタンであってもあなたを止めることが出来るものはありません。

あなた自身に忍耐する

あなたは、全生涯をかけて主にあって成長することを知ってください。一歩ずつしか進めず、他の人があなたより良くやっているように見えても、それに失望しないでください。あなたが罪を犯したとき、あなたはやましいと感じ、おそらく、何事もない振りをして見せるかもしれません。そんなとき、あなた自身を責めたり、あきらめたりしないでください。そうする代わりにあなたは悔い改め、ヨハネの第一の手紙 1章9節により、ゆるしを得るためにその罪を神に告白し、歩き続けましょう。

教会にかかわる

あなたのスケジュールを、教会の聖書研究の日や日曜の礼拝に参加出来るよう組みなおしましょう。神の家を軽んじない人は、神の御国で永遠を過ごすことが出来るでしょう。教会の活動に参加しましょう。さらに、神の働きのためにあなたの才能をささげましょう。神はあなたを祝福してくださり、また、あなたを通して人々が祝福されるでしょう。

賢く宣教する

あなたが愛し、受け入れて体験したことを人々に押し付けないように注意しましょう。たとえ、人々があなたを狂信者だと言ったとしても、他の宗教を裁いたり、非難したりしてはいけません。単純に、あなた個人の証(あかし)を大胆にそして愛をもって人々と分かち合ってください。人々に聖書勉強を提供し、教会に招き、その人たちのために祈りましょう。時が来れば彼らは、あなたの人生が本当に変わったこと、そしてあなたが真理に従って生きていることを見るようになるでしょう。そのようなあなたを見て、あなたの友人やあなたの親戚の人々が神にあるあなたの歩みに加わるようになることを期待することが出来ます。

あなたにも出来る！

「そして、あなたがたのうちに良いわざを始められたかたが、キリスト・イエスの日までにそれを完成して下さるにちがいないと、確信している。」(ピリピ 1:6)

キリストにあって

アル・ガッサン ジュニア

追伸

質問があったり、問題がある時には、ためらうことなくあなたの
靈的指導者の助けを求めてください。

<http://www.sayadi-al-nas.com>